

7 カリキュラム・マネジメントによる環境教育の充実

(1) 学習指導要領における環境教育の位置付け

① 環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成

平成 29 年告示の小・中学校学習指導要領第 1 章総則「第 1 小・中学校教育の基本と教育課程の役割」の中で、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育で、環境の保全に貢献し未来を拓く主体性のある日本人の育成を求めています。また、豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となることが期待される児童・生徒に、生きる力を育むことを目指すと示されています。

② 現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成

平成 29 年告示の小・中学校学習指導要領では、言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等の学習の基盤となる資質・能力や、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を教科等横断的な視点に基づき育成するよう改善されました。特に、中央教育審議会答申（平成 28 年 12 月）では、現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力として考えられるものの一つに「自然環境や資源の有限性等の中で持続可能な社会をつくる力」が例示されており、「小・中学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説総則編」の付録に教科等横断的に教育内容を構成する例として、環境に関する教育の資料が掲載されました（*94~97 ページ参照）。この資料は、小・中学校学習指導要領における「環境に関する教育」について育成を目指す資質・能力に関連する各教科等の内容のうち、主要なものを抜粋し、通覧性を重視して掲載されたものです。

(2) カリキュラム・マネジメントの視点から考える環境教育

現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力を育んでいくためには、各教科等における学習を充実させることはもちろん、教科等横断的な視点に立って教科等間のつながりを意識した学習を進めることが大切です。そのための鍵となるのが「カリキュラム・マネジメント」であり、この視点は、学校全体で環境教育を推進していく際にも役立つものであると考えられます。カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえて効果的に環境教育を進めるためには、次の点に

留意することが大切です。

- ア 児童・生徒や学校、地域の実態を適切に把握すること
- イ カリキュラム・マネジメントの三つの側面を通して、教育課程に基づき組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと
 - (ア) 教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てていくこと
 - (イ) 教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていくこと
 - (ウ) 教育課程の実施に必要な人的又は物的な体制を確保するとともにその改善を図っていくこと

※「小・中学校学習指導要領（平成29年告示）解説総則編」より作成

（3）教育の内容等を教科等横断的な視点で組み立てるE S Dカレンダー等の作成

各学校においては、教育の目的や目標の実現に必要な教育の内容等を選択し、各教科等の内容相互の関連を図りながら指導計画を作成したり、児童・生徒の生活時間と教育の内容との効果的な組み合わせを考えたりしながら、年間や学期、月、週ごとの授業時数を適切に定めていくことが求められています。

各教科等の内容相互の関連を図りながら指導計画を作成する方法の一つとして、E S Dカレンダーの作成が挙げられます。

例えば、次の実践校では、持続可能な開発のための教育（E S D）として取り組む内容を「環境教育」、「自国理解・国際理解・国際協力」、「人権・命の教育・生き方」、「学び方・学習スキル」の四つの領域とした上で、各領域に当てはまる学習内容について教科間のつながりが分かるように整理したE S Dカレンダーを作成しています。

ESDカレンダー 東村山市立回田小学校 平成29年度の実践より

第6学年

教科等	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語		学級討論会をしよう		ようこそ、私たちの町へ			平和のとりでを築く			今、私は、ぼくは	海の命	生きる	
社会	日本の歴史							平和で豊かな暮らしをめざして	暮らしの中の政治	災害から私たちを守る政治		世界の中の日本	
算数				速さ	比例と反比例			比		いろいろな単位			
理科	地球と私たちの暮らし	動物の体の働き	生き物の暮らしと環境				変わり続ける大地					地球に生きる	
音楽										日本と世界の音楽に親しもう			
図画工作	味わってみよう和の形												
家庭	見直そう 食事と生活のリズム		工夫しよう さわやかな生活			まかせてね 今日の食事					工夫しよう 暖かな生活		
体育										病気の予防			
外国語活動	「When is your birthday?」「Let's go to Italy .」「What time do you get up?」												
道徳	生命尊重	友情	家族愛	親切		自然愛	敬虔			国際理解	郷土愛	愛国心	
総合的な学習の時間	日光移動教室で自然や文化、人々とふれ合おう		訪問回と交流しよう		パソコンを活用した移動教室 調べ学習、まとめの新聞作り			共に生きる町に 車いす・アイマスク体験 高齢者疑似体験 全生園見学 障害のある方の講話					消費者金融教育 税金とは 契約
特別活動										ユニセフ募金	いのちとこころの学習		
	環境教育			自国理解・国際理解・国際協力			人権・命の教育・生き方			学び方・学習スキル			

また、次の実践校は、ESDカレンダーの中に、各学習内容と関連する主な持続可能な開発目標（SDGs）を盛り込み、教員がSDGsと関連付けながら指導ができるようにしています。加えて、学校において育成を目指す資質・能力を次のとおり定め、各教科等の各単元（題材）において、主にどのような資質・能力を育成するのかが分かるようにしています。

思考力：批判的に考える力
 多面的、総合的に考える力
 判断力：未来を予測して計画を立てる力
 コミュニケーション能力

このように、学校の実態に応じてESDカレンダーの内容を工夫して作成、活用を進めることで、学年や教科を超えた学校全体での取組として環境教育等を推進していくことができます。

SDGsカレンダー 大田区立大森第六中学校 平成30年度の実践より

第1学年

教科領域	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
国語	Fスピーチ 友達を紹介する 17	EF物語 花曇りの向こう 16	D説明文 ダイコンは 大きな根？ 15			AF物語 光る地平線 17	CF古文 竹取物語 17	AF説明文 シカの「落ち 穂ひろい」 15		C説明文 幻の魚は生 きていた 14	D物語 少年の日の思 い出 17		
社会	ABCDEF 「今日のトピック」 社会で起きている出来事を調べ、発表する。 人類の誕生・原始の日本 10 古代の日本 17 地球の姿 10 D 世界のさまざまな地域 16 戦争と平和を考える 8 CDF アジア 10 CDF ヨーロッパ州 4 中世・近世の日本 11 CDF アフリカ州 2 CDF アメリカ州 16 CF 北アメリカ州 15 CDF 南アメリカ州 16 オセアニア州 16												
数学	F 正負の数 13	F 文字と式 10	F 方程式 17	F 比例と反比例 9	F 平面図形 17	F 空間図形 17	F 資料の分析と活用 17						
理科	植物の世界 光合成と蒸散 環境とのつながり 15 13 身近な物質 12 ごみの分別 12 身のまわりの物質の活用 12 F 身近な現象 物理現象 実験結果を元に分析・活用 17 大地の変動 7 地球年表 地球の歴史を知り、自然災害に対する備え 7 ★光合成のしくみから温室効果ガスを考える ★3R ★化石燃料の使い方												
外国語	F あいさつ	F 教室英語	F Q & A	DEF 1週間	DF 時間	DF 感情表現	DF 校舎案内	DF 日本のお正月	DF 月に何をみる	E 点字	F 物語文		
音楽	F 発声の基礎	ABC情景と音楽	F ハーモニーの楽しみ		CD 音のイメージや曲想を感じ取って表現する		ABD いろいろな音楽 日本の楽器、郷土の音楽						
美術	F 描写の手法 球体デッサン	ADF 色相環を活用した静物画制作	CD 鑑賞		ADF 金のレタリング制作 平面構成を生かして	16 鑑賞 マイケルニカ 平和教育	AF スクラッチアート 動物の肖像						
保健体育	E 呼吸器・循環器について学ぶ				ダンス	5 性教育 ジェンダー	17 心のストレス 社会性について話し合う						
技術科	技術の歴史 新しい技術	D 情報に関する技術	C 生物育成に関する技術		A 材料と加工に関する技術								
家庭科	AD 衣生活の自立						AE 住生活と自立						
総合的な学習の時間	ユネスコについて 持続可能な社会をイメージする	AB 地域調べ 景観まち作り			DF 車山移動 教室		DF 職業・職場 インタビュー発表						
特別活動 生徒会	ESDオリエンテーション AF あいさつ運動 ★エコキャップ運動(小中連携) 洗足池清掃 A 校内キレイキレイ活動 ★農援隊ミズコンポスト活動 落ち葉掃き活動												
道徳	仲間を知ろう	生命の尊重	集団生活の向上	公徳心、社会連携	希望、勇気、強い意志	郷土愛	勤労、社会奉仕	権利、義務、秩序	人類愛	自然、畏敬の念	感謝 謝恩	集団生活の向上	男女の理解

ESDカテゴリ分類記号

- A: 環境教育
- B: 平和教育
- C: 世界遺産教育
- D: 多文化共生教育
- E: 人権・福祉(健康)教育
- F: 基礎(コミュニケーション・多面的総合的批判的な見方)

学校独自のSDGs

育成を目指す資質・能力

- 思考力：批判的に考える力
- 多面的、総合的に考える力
- 判断力：未来を予測して計画を立てる力
- コミュニケーション能力

エネルギー教育 ★

学校において育成を目指す資質・能力を明確にし、各単元(題材)の学習を通して主に育成する資質・能力を単元(題材)名に色を付けて分かるように示しています。